

## シラバス (授業計画)

授業科目名	入学年度	開講学年・学期	必・選	単位数	担当教員名
税 務 会 計 特 論	共通	1・2年生	選択	2単位	木下 勝一
準備学習の内容 (履修の前提条件)					
<p>学部レベルの「会計学 (財務会計)」の知識があること。</p> <p>大学院講義「会計情報学特論」「租税法特論」を並行して履修すること。</p>					
授業の到達目標及びテーマ					
法人税法の計算規定を理論、課税実務、判例の総理解を通じて全体把握すること。					
授業の概要					
税法と財務会計の両面の関連する税務会計論を主として企業課税の側面について、以下の授業計画に従って概説する。					
授業計画					
第1回 租税法律主義 (1)					
第2回 租税法律主義 (2)					
第3回 租税法律主義 (3)					
第4回 税務会計と企業会計の関係・法人税の性格					
第5回 課税所得計算構造 (1)——確定決算原則と決算・申告調整					
第6回 課税所得計算構造 (2)——税務収益 (益金) 会計					
第7回 課税所得計算構造 (3)——税務費用 (損金) 会計、税務負債・資本会計					
第8回 キャピタルゲイン課税 (1)——有価証券税制					
第9回 キャピタルゲイン課税 (2)——土地税制					
第10回 中小企業課税——同族会社・交際費					
第11回 使途不明金・使途秘匿金					
第12回 国際企業課税 (1)——国際二重課税排除・移転価格税制					
第13回 国際企業課税 (2)——タックスヘブンを対策税制・外国税額控除					
第14回 法人税と判例研究 (1)					
第15回 法人税と判例研究 (2)					
第16回 まとめ					
テキスト					
開講時に指定する。					
参考書・参考資料等					
金子宏『租税法』弘文堂					
法人税法令集					
その他講義中に参考資料を配布する。					
成績評価の方法・基準					
レポートおよび講義中の質疑応答を総合的に判断して、成績評価する					